

# 沖縄県における平均寿命, 年齢調整死亡率, 年齢階級別死亡率の推移(1975-2005)

桑江なおみ・新垣あや子・下地實夫

## Trends of Life Span Expectancy, Age-adjusted Death Rates and Death Rates by Sex, Age and Leading Cause of Death in Okinawa 1975-2005.

Naomi KUWAE, Ayako SHINGAKI and Saneo SHIMOJI

**要旨** : 2000 年の都道府県別平均寿命で沖縄県男性が 1995 年の 4 位から 26 位に急落 (26 ショック) したが, 長寿復活に向けて, 沖縄県民の平均寿命, 年齢調整死亡率等が 2005 年にどのように推移したのかについて検討した。

1. 2005 年の都道府県別生命表によると, 沖縄県男性の都道府県順位は 25 位であった。2005 年まで首位を維持している女性も全国水準に近づいてきており, 2 位の島根県との格差が縮小している。男性では, 40 歳平均余命が 23 位から 26 位, 40 歳平均余命が 9 位から 20 位へと順位を落としている。女性では一貫して首位を保っているが, 2 位の島根県との格差が縮小している。
2. 2000 年と 2005 年の区間死亡確率では, 男女とも 40 歳未満ではやや改善傾向がみられるが, 40-64 歳の区間死亡確率は男女とも都道府県順位が後退しており, 女性では 2005 年の区間死亡確率が悪化していた。
3. 年齢調整死亡率は平均寿命同様, 1990 年代以降で死亡率の低下が全国より小さく, 2000 年には男性が 24 位, 一貫して首位を維持していた女性も初めて 2 位となり, 2005 年では男女とも 13 位となった。
4. 2005 年における年齢階級別死亡率は, 男性では青壮年期の不慮の事故と自殺などで改善傾向がみられたが, 25-39 歳の急性心筋梗塞, 脳血管疾患, 肝疾患, 糖尿病などの都道府県順位がワースト 5 位以内であった。女性では, 40-59 歳の心疾患および 45-69 歳の急性心筋梗塞, 25-79 歳の肝疾患, 50-79 歳の糖尿病でワースト 5 位以内が増えており, 40-49 歳の自殺もワースト 5 位以内となって中高年期での都道府県順位の後退が目立った。

**Key word** : 平均寿命 Life Span Expectancy, 区間死亡確率 Life Stage Mortality Rate, 年齢調整死亡率 Age-Adjusted Death Rates

### I はじめに

26 ショック (2000 年の都道府県別平均寿命で沖縄県男性の平均寿命が 4 位から 26 位に転落) については, 多くの県民が知っており, 長寿県の維持に危機意識を持つようになったものの県民 1 人 1 人が健康づくりに取り組むという具体的な行動変容 (動機づけ) にはいたっていない。このような状況の下, 沖縄県では, 健康づくりの指針として 2002 年 1 月に策定した「健康おきなわ 2010」を長寿県復活に向けたアクションプラン「健康おきなわ 2.1」に改訂し, 県民一体の健康づくり運動を展開しているところである。本稿では, 公表された 2005 年都道府県生命表および 2005 年都道府県別年齢調整死亡率を用いて, 平均寿命, 主な年齢の平均余命, 区間死

亡確率, 年齢調整死亡率, 年齢階級別死亡率について分析し, 沖縄県の長寿県復活の可能性について検討したので報告する。

### II 方法

#### 1. 調査方法

人口動態調査報告書などの公表済みの統計資料, 地域保健推進特別事業により整備された健康指標に関するデータベース「おきなわ健康情報ライブラリ」に収集・集積した統計データ, 厚生労働省統計情報データベースなどインターネットにより提供されているデータ等を用いて集計分析を行った。とくに早世の状況を把握するために, 2000 年および 2005 年の都道府県生命表から区間別

死亡確率を算出して検討を加えた。

2. 集計方法

(1)人口

全国および他県との比較に用いる性別、年齢階級別人口については、厚生労働省大臣官房統計情報部から5年おきに公表される人口動態特殊報告「都道府県別年齢調整死亡率」に掲載されている都道府県別年齢階級別日本人人口を使用した。

(2)都道府県別生命表

平均寿命については1975-2005年の推移、主な年齢の平均余命については1995-2005年の推移について観察した。また2000年および2005年の都道府県別生命表から区間死亡確率を算出し、26ショック後の動向について検討した。なお、区間死亡確率(LSMR: Life Stage Mortality Rate)とは、ある集団の人口が特定の年齢に達するまでの死亡総数を期待値で表す指標であり、生命表の上で、ある年齢の区間で死亡する確率のことをいう。2000年および2005年都道府県別生命表より、次のとおり算出した。

$$LSM(0-64) = 0-64 \text{ 歳の死亡数の総和}$$

$$LSMR(0-64) = LSM(65)/100000(\%)$$

なお、0-19歳、20-39歳、40-64歳についても同様に性別、都道府県別に区間死亡確率算出した。

(3)年齢調整死亡率、年齢階級別死亡率

2000年都道府県別年齢調整死亡率および2005年都道府県別年齢調整死亡率より、都道府県別に順位を付けて検討した。

III 結果および考察

1. 人口の推移

沖縄県は、出生率の低下と幼年人口比の減少が全国に比べて緩やかなため、老年人口比は全国よりかなり低い状態を保っているが、65歳以上の老年人口の構成比をみると、85歳以上の後期高齢者の占める割合が全国一高く、老年人口での高齢化はもっとも進んでいる特異な人口構成となっている(図1, 図2)。

2. 都道府県別平均寿命の推移

都道府県別平均寿命については、大正10-14年からデータがあり、全国では男42.1歳、女43.2歳となっている。平成17年は男77.7歳、女84.6歳で世界でもトップクラスにあり、わずか80年間で、寿命が2倍近く延びている。都道府県別にみると、沖縄県は、男46.3歳(2位)、女50.5歳(1位)で当時から長寿であった。

復帰後の1975年から沖縄県のデータが再び掲載されるようになると、1980年、1985年には男女とも全国1位となって長寿県としてのイメージが定着した。しかし、沖縄県の寿命の伸びは、1985年をピークに急速に減少しており、80年間の伸び率でみても復帰後35年間の伸び率でみても男女とも全国よりかなり低くなっており、

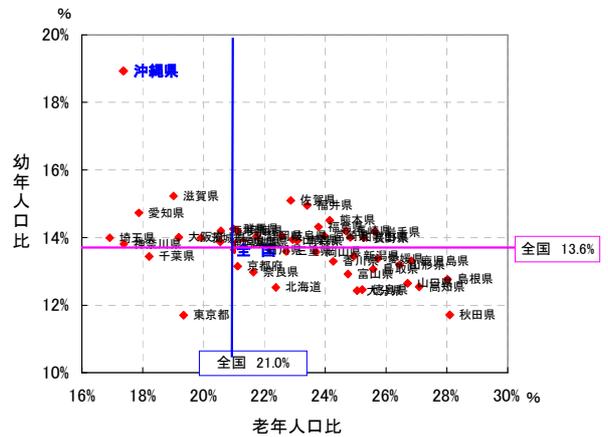


図1. 都道府県別人口構成比(2005)

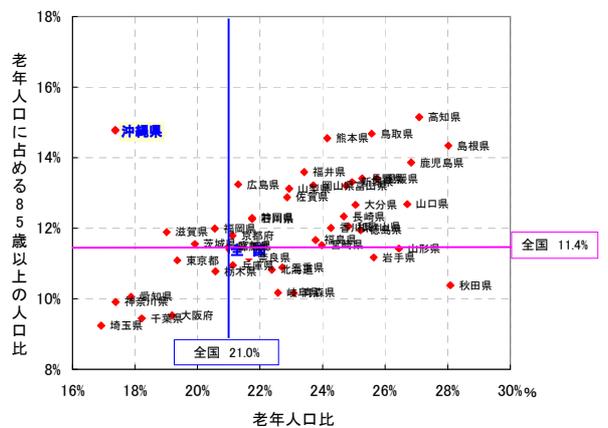


図2. 都道府県別老年人口構成比(2005)

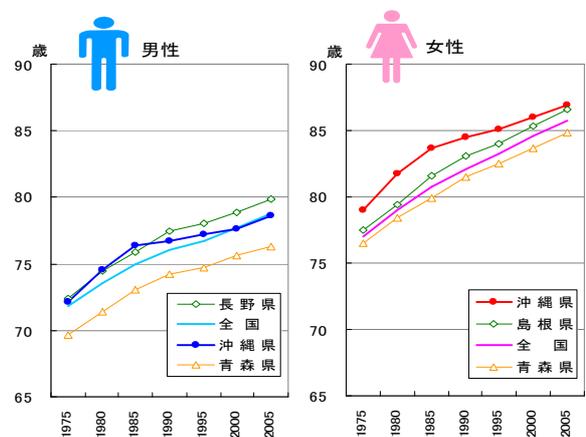


図3. 平均寿命の推移(1975-2005)

都道府県間の平均寿命の格差は1925年の約15歳から年々縮小している。沖縄県は、男性が2000年に77.64歳(26位)と大きく順位を落とし、2005年も78.64歳(25位)と全国の78.79歳を下回るようになった。女性は2000年86.01歳、2005年86.88歳で首位を保っているが、2000年から2005年の5年間における平均寿命の伸びが0.87年となっており、2位の島根県1.27年より0.4年短い。2位との平均寿命の差は0.31歳となって、さらに格差が縮小している(図3, 表1)。

3. 主な年齢の平均余命の推移

2005年の平均余命を都道府県別にみると、平均寿命が高いほど各年齢の平均余命も高い傾向がみられる。沖縄県男性は、0歳の平均余命(平均寿命)が26位から25位となったが、20歳の平均余命が23位から26位、40歳の平均余命が9位から20位となって、65歳未満の順位がさらに悪化しており、順位の変動が最も大きい。女性は男性に比べて年齢による順位の変動が小さく、沖縄県女性は、一貫して首位を保っている(表2, 図4)。

表1. 平均寿命の推移(1925-2005)\* - 全国, 沖縄県および2005年の順位が首位, 最下位の県 -

	大正10 ~14年 1925	大正15 ~昭和5 1930	昭和10 ~11 . . . . . 1935	昭和50 1975	昭和55 1980	昭和60 1985	平成2 1990	平成7 1995	平成12 2000	平成17 2005
全 国	42.06	44.82	46.92	71.79	73.57	74.95	76.04	76.70	77.71	78.79
男 性										
沖縄県 (順位)	46.32 2	45.97 15	47.24 15	72.15 10	74.52 1	76.34 1	76.67 5	77.22 4	77.64 26	78.64 25
長野県 (順位)	45.36 5	48.24 2	49.51 1	72.40 4	74.50 3	75.91 2	77.44 1	78.08 1	78.90 1	79.84 1
青森県 (順位)	38.86 40	41.40 44	43.32 44	69.69 47	71.41 47	73.05 47	74.18 47	74.71 47	75.67 47	76.27 47
女 性										
全 国	43.20	46.54	49.63	77.01	79.00	80.75	82.07	83.22	84.62	85.75
沖縄県 (順位)	50.53 1	50.47 1	51.78 2	78.96 1	81.72 1	83.70 1	84.47 1	85.08 1	86.01 1	86.88 1
島根県 (順位)	37.14 46	39.71 46	40.70 46	77.53 6	79.42 11	81.60 2	83.09 2	84.03 3	85.30 5	86.57 2
青森県 (順位)	39.94 41	43.22 44	46.27 42	76.50 35	78.39 44	79.90 46	81.49 45	82.51 46	83.69 47	84.80 47

\* 沖縄県は1945~1970年までデータなし

表2. 主な年齢の平均余命の推移(1995, 2000, 2005) - 2005年都道府県別平均寿命が上位5位以内の県 -

男性	0歳の平均余命			20歳の平均余命			40歳の平均余命			65歳の平均余命		
	1995	2000	2005	1995	2000	2005	1995	2000	2005	1995	2000	2005
全 国	76.70	77.71	78.79	57.46	58.32	59.31	38.24	39.13	40.08	16.74	17.56	18.23
沖 縄 県 (順位)	77.22 4	77.64 26	78.64 25	58.12 3	58.42 23	59.18 26	39.15 2	39.50 9	40.22 20	17.97 1	18.45 1	19.16 1
長 野 県 (順位)	78.08 1	78.90 1	79.84 1	58.72 1	59.44 1	60.23 1	39.49 1	40.33 1	41.18 1	17.50 2	18.38 2	19.13 2
滋 賀 県 (順位)	77.13 12	78.19 6	79.60 2	58.00 7	58.85 5	60.10 2	38.75 6	39.61 5	40.77 2	16.78 31	17.41 33	18.45 17
神 奈 川 県 (順位)	77.20 6	78.24 5	79.52 3	57.91 11	58.82 6	60.03 3	38.57 15	39.53 8	40.66 4	16.95 14	17.78 10	18.67 6
福 井 県 (順位)	77.51 2	78.55 2	79.47 4	58.37 2	59.27 2	59.98 4	39.15 3	39.94 2	40.70 3	17.25 4	17.93 4	18.53 13
東 京 都 (順位)	76.91 20	77.98 15	79.36 5	57.59 24	58.54 17	59.84 6	38.28 28	39.24 23	40.46 11	16.85 20	17.79 7	18.72 4
女性	0歳の平均余命			20歳の平均余命			40歳の平均余命			65歳の平均余命		
全 国	83.22	84.62	85.75	63.80	65.10	66.17	44.24	45.54	46.61	21.23	22.46	23.42
沖 縄 県 (順位)	85.08 1	86.01 1	86.88 1	65.76 1	66.51 1	67.23 1	46.27 1	47.04 1	47.72 1	23.47 1	24.10 1	24.86 1
沖 縄 県 (順位)	85.08 1	86.01 1	86.88 1	65.76 1	66.51 1	67.23 1	46.27 1	47.04 1	47.72 1	23.47 1	24.10 1	24.86 1
島 根 県 (順位)	84.33 3	85.30 5	86.57 2	64.70 3	65.94 2	67.01 2	45.18 3	46.47 2	47.44 2	22.11 3	23.27 2	24.18 2
熊 本 県 (順位)	84.39 2	85.30 4	86.54 3	65.04 2	65.77 4	66.88 4	45.50 2	46.25 4	47.28 4	22.38 2	23.08 3	24.05 3
岡 山 県 (順位)	83.81 6	85.25 6	86.49 4	64.38 6	65.71 8	66.88 3	44.84 6	46.17 7	47.31 3	21.71 8	22.97 8	23.90 7
長 野 県 (順位)	83.89 4	85.31 3	86.48 5	64.40 5	65.77 5	66.84 6	44.86 5	46.23 5	47.27 5	21.68 10	22.91 9	23.93 6

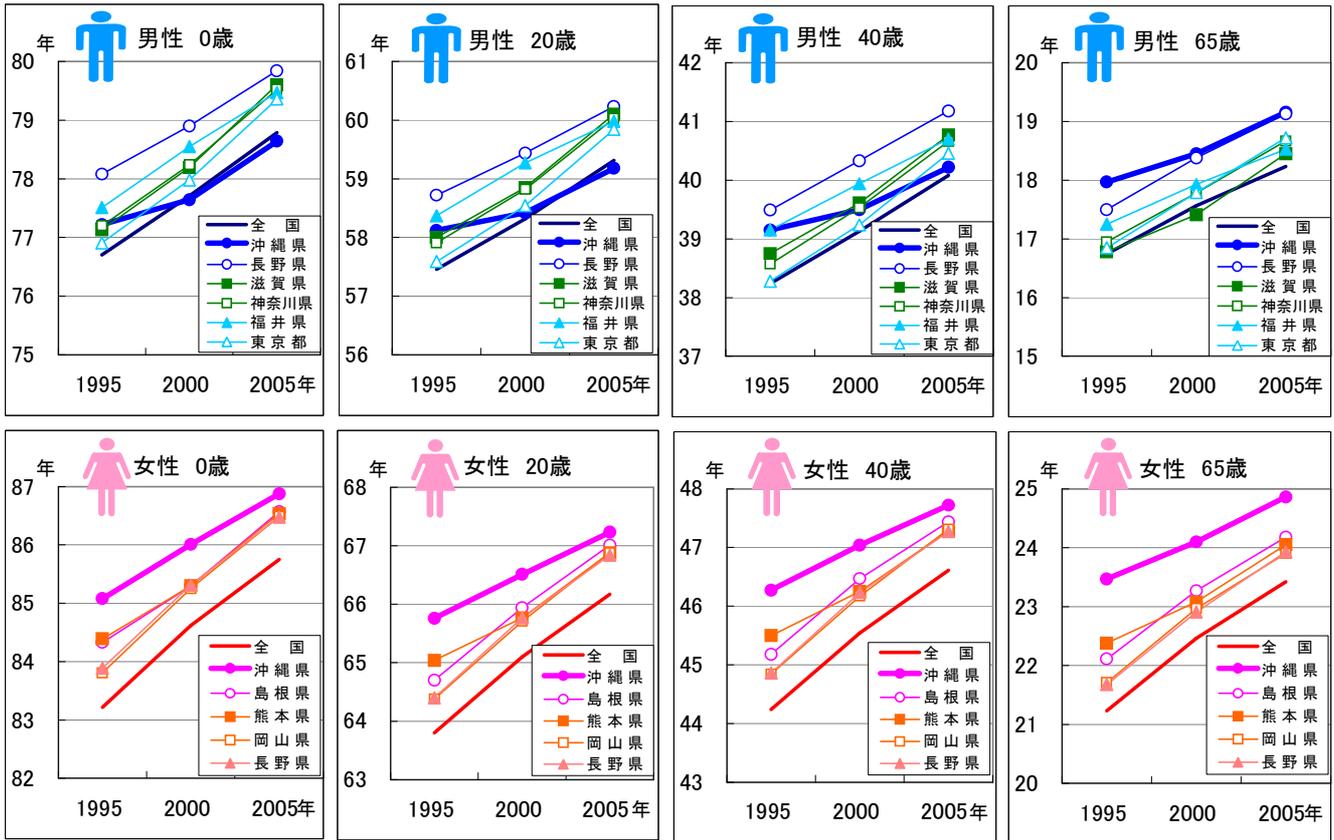


図4. 主な年齢の平均余命の推移 (1995, 2000, 2005) — 2005年都道府県別平均寿命が上位5位以内の県—

4. 区間死亡率の推移

早世の指標として、2000年および2005年の0-64歳、0-19歳、20-39歳、40-64歳の区間死亡率について都道府県別に算出し、散布図を作成して検討した(図4)。

なお、0-64歳の死亡率とは、0歳から65歳の誕生日を迎える前に死亡する確率を示しており、以下同様にそれぞれの年齢区間で死亡する確率を示す。

(1) 0-64歳の区間死亡率

沖縄県では、男性が2000年の17.01%(全国15.40%)から2005年には16.34%(全国14.11%)と低下したものの都道府県順位はいずれも44位で、ワースト4位となっている。女性では、2000年の7.64%(全国7.46%)から2005年には7.54%(全国6.86%)とわずかに低下したものの都道府県順位は34位から46位のワースト2位へと後退している。男女とも早世の指標は他県に比べて改善されていない状況にある。

(2) 0-19歳の区間死亡率

沖縄県では、男性が2000年の1.09%(全国0.86%)の44位から2005年には0.75%(全国0.71%)の32位となっており、やや改善している。女性でも2000年の0.61%(全国0.60%)から2005年には0.43%(全

国0.52%)とかなり改善がみられ、都道府県順位も28位から5位となった。

(3) 20-39歳の区間死亡率

沖縄県では、男性が2000年の2.22%(全国1.67%)の47位から2005年には2.13%(全国1.58%)の46位となっており、この区間の死亡率が依然として高くなっている。女性では、2000年の0.95%(全国0.81%)から2005年には0.87%(全国0.81%)とやや改善がみられ、都道府県順位も47位から38位となった。

(4) 40-64歳の区間死亡率

沖縄県では、男性が2000年の13.70%(全国12.87%)の37位から2005年には13.46%(全国11.81%)の44位に後退した。女性では、2000年の6.08%(全国6.04%)の26位から2005年には6.24%へと増加に転じており、都道府県順位も46位(全国5.53%)に後退した。とくに女性の区間死亡率が悪化しており、首位を保っている平均寿命のランクが今後低下することが予測される。0-19歳および20-39歳の区間死亡率はやや改善の傾向がみられるが、40-64歳の死亡は早世の大部分を占めていることから、長寿県復活のためには男女ともこの区間の死亡率の改善が課題である(図4)。

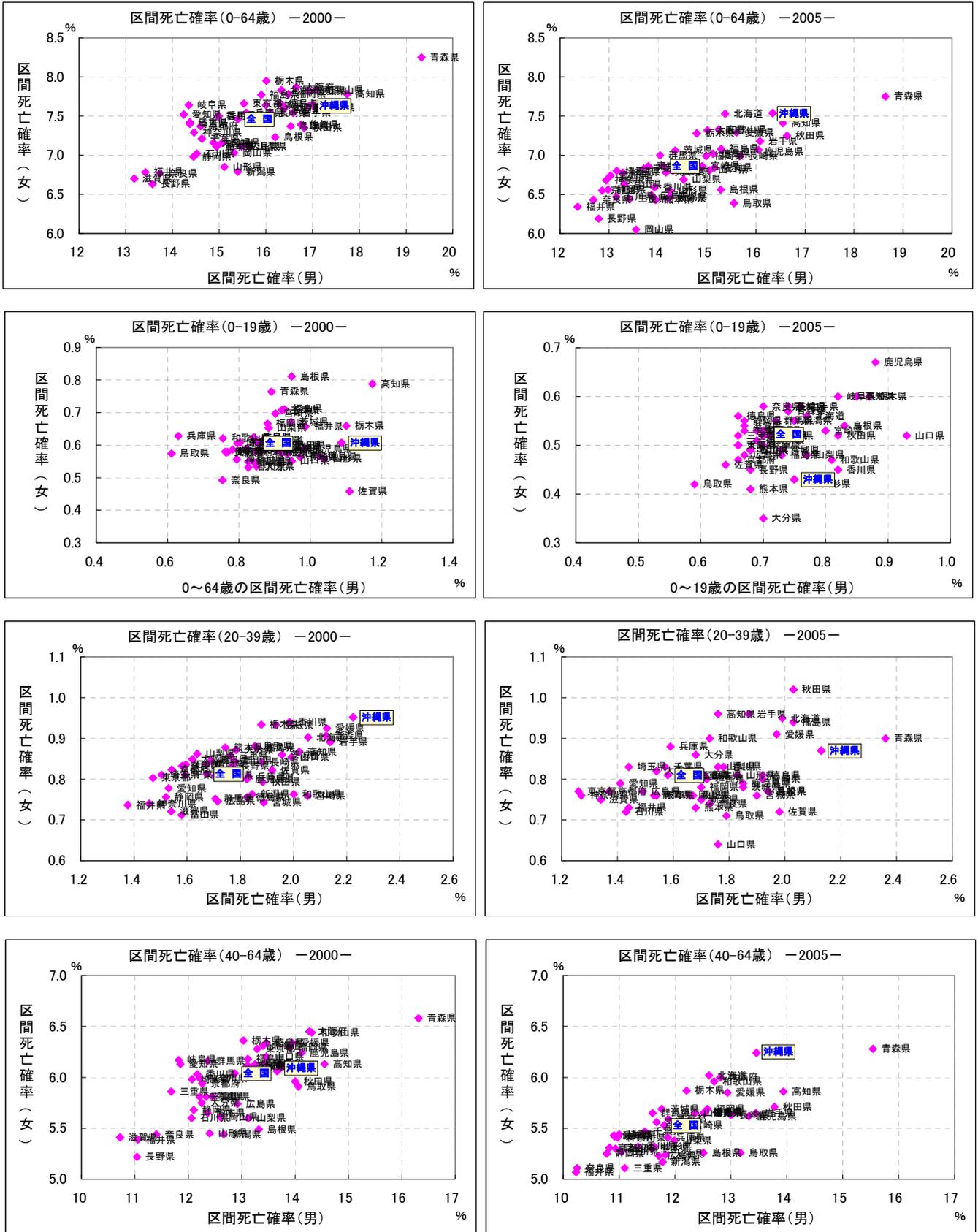


図4. 都道府県別区間死亡率(0-64歳, 0-19歳, 20-39歳, 40-64歳) — 2000, 2005 —

5. 年齢調整死亡率の推移

沖縄県は、男女とも首位を保っていた1985年を境に、1990年代に入って年齢調整死亡率の改善が急激に鈍化している。都道府県順位は、男性が1990年3位、1995年6位、2000年24位と後退の一途をたどっていたが、2005年には13位となりやや順位を上げている。女性では、1995年まで首位を維持していたが2000年には島根県に首位の座を明け渡して初めて2位となり、2005年には13位とさらに順位を下げた。また、女性の年齢調整死亡率は沖縄県のみ2000年と2005年が同値となっており、年齢調整死亡率が横ばいとなっている。男性に10年遅れて、今後も年齢調整死亡率の順位が後退する可能性がある。ただし、年齢調整死亡率の都道府県格差は年々縮小してきているため、全国値に近づくほど順位の変動は大きくなるものと思われる(図5、表3)。

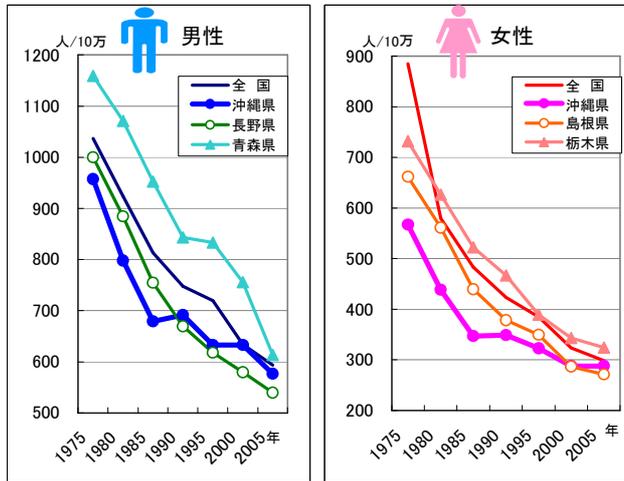


図5. 年齢調整死亡率の推移 (1975-2005)

6. 年齢階級別死亡率の推移

2000年、および2005年の都道府県別年齢階級別死亡率について、性別、死因別に順位を付して検討した。

男性では、26ショックとなった2000年の全死因の年齢階級別死亡率は、0-4歳、15-49歳でワースト5位以内であったが、2005年では30-34歳、40-54歳がワースト5位以内となっており、年齢階級死亡率は40歳未満の若年層でやや改善している。死因別にみると、65歳以上の気管支・肺がん、15-29歳の不慮の事故、25-49歳の自殺で改善がみられる一方、肝疾患、糖尿病でワースト5以内の年齢階級が増えている。女性では、2000年の全死因の年齢階級別死亡率は、40-49歳でワースト5位以内であったが、2005年では45-49歳および60-64歳がワースト5位以内となっており、とくに50-79歳の中年期から初老期の年齢階級別死亡率での都道府県順位の後退が目立っている。死因別にみると、50歳以上の気管支・肺がん、40-59歳の心疾患および45-69歳の急性心筋梗塞、25-79歳の肝疾患、50-79歳の糖尿病でワースト5位以内が増え、40-49歳の自殺もワースト5位以内となった。女性は年齢調整死亡率も2000年の2位から13位と大きく順位を落としている。90歳以上の長寿者および百寿者の割合が際だって高いことから、平均寿命は2005年まで首位を維持してきているが、今後は男性と同様に順位を落とす可能性がある。とくに中年以降の心疾患、肝疾患、糖尿病などの生活習慣病および自殺の死亡率改善が課題となっており、男女とも長寿県復活はきわめて厳しい状況にある(表4)。

表3. 年齢調整死亡率の推移 (1960-2005) \* ー全国、沖縄県および2005年の順位が首位、最下位の県ー

	昭和35 1960	昭和40 1965	昭和45 1970	昭和50 1975	昭和55 1980	昭和60 1985	平成2 1990	平成7 1995	平成12 2000	平成17 2005
男性										
全国	1476.1	1369.9	1234.6	1036.5	923.5	812.9	747.9	719.6	634.2	593.2
沖縄県				957.1	798.0	679.2	691.5	632.8	632.8	576.6
(順位)				3	1	1	3	6	24	13
長野県	1472.9	1412.1	1216.2	999.8	884.7	754.7	669.5	617.9	579.5	539.4
(順位)	26	28	14	9	4	3	1	1	1	1
青森県	1752.1	1501.6	1371.6	1159.3	1070.8	952.3	843.2	833.1	755.9	613.4
(順位)	45	40	44	47	47	47	47	46	47	47
女性										
全国	1042.3	931.5	823.3	885.1	579.8	482.9	423.0	384.7	323.9	298.6
沖縄県				567.2	438.6	347.1	349.2	322.9	288.0	288.0
(順位)				1	1	1	1	1	2	13
島根県	973.1	907.3	794.6	661.9	561.2	439.7	378.5	349.5	286.9	271.2
(順位)	3	15	10	10	12	2	2	4	1	1
栃木県	1057.0	971.6	890.8	732.0	626.3	522.4	466.9	389.4	343.2	324.4
(順位)	25	31	44	44	47	45	46	36	45	47

\* 沖縄県は1960～1970年までデータなし、順位は低率順。

表4. 沖縄県における主要死因の年齢調整死亡率および年齢階級別死亡率の都道府県順位\* (男性: 2000, 2005)

2000年	年齢調整死亡率	年齢階級別死亡率(2000)																		
		総数	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
全死因	24	3	47	35	4	45	43	46	45	47	47	46	30	37	6	17	10	26	1	1
悪性新生物	5	1	47	45		41		35	32	29	29	13	2	7	1	20	7	36	23	1
気管支・肺がん	45	8								20	11	15	8	6	11	47	46	47	47	22
心疾患	9	1	20				9	25	21	46	40	34	5	44	19	45	8	15	4	1
急性心筋梗塞	36	7						44		43	15	39	24	47	41	47	14	26	29	5
脳血管疾患	5	1		45				43		19	19	47	45	44	42	10	8	2	16	1
脳内出血	45	23								42	43	47	45	43	42	36	45	44	37	20
肺炎	7	2	38							25	24	46	32	42	25	3	33	29	2	9
肝疾患	47	41							44	44	47	47	42	47	8	46	40	37	26	
糖尿病	46	20								21	43	41	44	47	47	15	47	1	10	
腎不全	5	1											46	11	11	33	1	20	7	3
不慮の事故	8	4	13		14	47	47	45	15	10	29	28	40	3	3	1	3	17	1	1
自殺	45	42				13	21	45	44	47	47	45	27	29	33	10	46	2	21	47
2005年	年齢調整死亡率	年齢階級別死亡率(2005)																		
		総数	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
全死因	13	1	14	38	34	14	21	34	45	36	45	46	46	29	27	16	6	1	1	1
悪性新生物	2	1	41	25	42	14	35	16	23	9	17	38	19	4	21	9	1	3	7	16
気管支・肺がん	30	2							40	27	17	18	25		35	24	18	35	42	42
心疾患	3	1	31			28		28	20	26	17	46	8	18	4	28	13	4	4	1
急性心筋梗塞	27	8						39	28	36	18	38	5	34	10	39	36	21	44	8
脳血管疾患	3	1							45	36	30	18	43	40	44	6	2	1	1	2
脳内出血	36	6							44	45	40	24	44	35	47	21	14	5	18	21
肺炎	12	1	37				41	39		30	41	47	47	37	17	10	43	4	3	10
肝疾患	47	47						45	45	47	47	47	47	45	25	43	30	40	43	31
糖尿病	47	23							46			47	47	42	46	47	10	17	26	3
腎不全	10	1							45		38	45	27	47	6	37	10	14	4	3
不慮の事故	8	2	4	37	40	23	26	40	35	11	15	42	38	13	6	10	4	1	1	1
自殺	40	30				16	20	16	42	40	44	41	20	21	43	1	47	33	32	33

\*順位は低率順とした。   は都道府県順位がベスト5。   は都道府県順位がワースト5。

表5. 沖縄県における主要死因の年齢調整死亡率および年齢階級別死亡率の都道府県順位\* (女性: 2000, 2005)

2000年	年齢調整死亡率	年齢階級別死亡率(2000)																		
		総数	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
全死因	2	3	36	11	20	8	3	41	29	39	43	47	2	17	5	15	12	3	1	1
悪性新生物	2	1		32		21	15	40	21	25	42	44	2	2	2	6	9	6	3	1
気管支・肺がん	41	24								11	39	14	5	32	36	15	47	47	44	
心疾患	1	2				36	28		37	4	24	30	30	32	31	10	4	3	1	
急性心筋梗塞	35	8									41	47	16	12	45	34	32	15	19	
脳血管疾患	1	1						38	44	32		15	5	33	7	27	2	1	1	1
脳内出血	6	2							43	34	1	12	7	42	5	17	21	12	3	2
肺炎	9	5								38	42	42	39	16	30	34	23	2	12	
肝疾患	39	16				47			42	37	41	43		27	33	20	41	39	8	28
糖尿病	46	30								46	43		38	47	44	47	34	7	26	
腎不全	5	3	45								39		34	44	3	46	1	1	10	
不慮の事故	1	1				6	5	12		25	31	13	7	9	9	15	1	2	2	4
自殺	31	10		45	31	2	43	42	46	26	35	38	25	9	26	1	34	6	1	
2005年	年齢調整死亡率	年齢階級別死亡率(2005)																		
		総数	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
全死因	13	3	13	19	13	10	37	40	7	40	18	47	39	40	47	42	17	10	2	1
悪性新生物	5	1	32			44		45	1	21	4	21	10	12	40	33	11	4	1	7
気管支・肺がん	46	34						46		34	27	1	8	24	46	10	47	44	47	47
心疾患	8	1	42		43			43		23	46	44	47	44	22	38	7	10	1	1
急性心筋梗塞	45	20							40	36	45	47	47	44	46	33	41	28	35	
脳血管疾患	1	1							14	5	37	38	6	46	15	4	1	1	1	1
脳内出血	12	2								40	45	20	45	5	19	3	13	2		
肺炎	12	4	30					46		43		45	42	22	4	3	47	4	32	5
肝疾患	47	45						45	47	47	42	36	47	43	5	41	44	47	14	47
糖尿病	47	26								36	46	44	47	43	47	46	19	7		
腎不全	13	10											26	15	12	12	30	16	34	
不慮の事故	3	1	19	27		29	45	24	26	30			28	22	42	33	5	1	1	1
自殺	6	2				33	5	7	39	45	44	17	18	2	8	3	2	4	2	

\*順位は低率順とした。   は都道府県順位がベスト5。   は都道府県順位がワースト5。

IV 参考文献

1) 厚生労働省大臣官房統計情報部編. 平成17年都道府県別生命表, 2008, 297pp.

2) 厚生労働省大臣官房統計情報部編. 平成17年都道府県別年齢調整死亡率(人口動態統計特殊報告), 2007, 377pp.